

# 中国語学習の運用設計-講義

## 1 導入

この講義の核心は、中国語学習を「単語を覚える作業」としてではなく、「誤りの型を記録し、再発を抑制する運用」として設計することである。とくに日本語母語話者にとっては、漢字が読めることが理解の近道である一方、TON・GRM・CHRの混線を生みやすい。

中国語では、声調の誤り、語順の誤り、同形異義語の誤認を同時に管理する必要がある。したがって、学習の単位を「初稿 → タグ判定 → 根拠確認 → 再提出」に固定し、毎回どの種類の誤りが主問題だったかの残す。

口頭要約のような運用課題でも、評価の軸は同じである。主張が先頭で立っているか、根拠が圧縮されているか、留保が消失していないかを確認し、必要ならREGやGRMの主問題として記録する。

運用を完結させるには、採点結果を眺めるだけでなく、次回課題を1行へ圧縮する工程が必要である。後半では、ポートフォリオ更新ドリルを通して、主問題タグ、SRS追加対象、再提出方針を同時に決定する。

## 2 中心課題

なぜ中国語学習では、語彙数を増やすことより先に、TON / GRM / CHR / MEA / COL / REGの分類と記録手順を固定する必要があるのか。

## 3 用語

- 誤りタグ: 誤りの型を分類する記号。中国語トラックではTON / GRM / CHR / MEA / COL / REGを使用する。
- 声調: 音節に付随する高低変化であり、語義を区別する。
- 日中同形異義語: 字形が近くても意味が一致しない語。
- 量詞: 名詞を数えるときに介在する分類語。

## 4 方針

中国語の学習は、次の4工程で固定する。

- 発音または作文の初稿を出す
- 主問題タグを1個決定する
- 定石集・講義・一覧表で根拠を確認する
- 再発防止のために、修正前と修正後を記録する

## 5 直感的な説明

中国語では、一つの誤答に複数の誤りが重なることが多い。たとえば [我/Wǒ][买/mǎi][了/le][一/yí][个/gè][书/shū]。は、意味そのものは通るが、量詞が不自然である。このとき「文法が弱い」とだけ処理すると、MEA という独立した論点が見えなくなる。

### Incorrect

Wǒ mǎi le yí gè shū  
我买了一个书。

[MEA] 名詞 [书/shū] には通常 [本/běn] を用いる。

### Correct

Wǒ mǎi le yí běn shū  
我买了一本书。

[MEA] 主要量詞を正しく選択している。

学習が進むほど、「何が主因か」を切り分ける作業が重要になる。

## 6 厳密な説明

### 6.1 1. 優先順位を固定する

中国語トラックでは TON > GRM > CHR > MEA > COL > REG の順で点検する。これは、修正遅延の代償が大きい順序である。

→ [定石集](#) [中国語誤りタグ体系](#) [reference](#) [chinese](#) [error-taxonomy](#)  
<https://study.bem130.com/reference/chinese/error-taxonomy/中国語誤りタグ体系-定石集/>

- TON は全語彙に横断する
- GRM は語順とアスペクトの土台である
- CHR は日本語の既知知識が罫になりやすい
- MEA / COL / REG は、その上に自然性を積み上げる

### 6.2 2. 記録単位を小さくする

毎回の学習記録は、1 題 1 行を基本とする。たとえば次の三点を残せばよい。

- 主問題タグ
- 修正前と修正後
- 根拠（講義、定石集、一覧表）

細密すぎる記録は継続を阻害するため、「短くても次回に再利用できる」粒度で固定する。

### 6.3 3. 音声と文字を分離して確認する

中国語では、字が読めても発音が崩れることがある。また反対に、音は近くても字の選択が誤ることもある。したがって、同じ単語でも次を別々に点検する。

- 音は正確か
- 字は正確か
- 文の中での役割は正確か

### 6.4 4. 反復の対象を限定する

声調と量詞は短い反復単位へ分解しやすい。一方、把構文や補語のような文法項目は、短文を用いて構文全体を反復する必要がある。この差を無視すると、全部を同じ暗記法で処理して失敗する。

## 7 見分け方

- 意味が変わるなら、まず TON と CHR を疑う
- 語の順番を直すと文意が安定するなら GRM を疑う
- [个/gè] で済ませたくなる箇所は MEA を重点的に確認する
- 通じるが不自然な表現は COL または REG を疑う

## 8 どこまで成り立つか

この運用設計は、発音・作文・翻訳の管理には有効であるが、長時間の会話練習や聴解そのものを代替するものではない。したがって、実際の発話と理解は別途訓練しつつ、ここでは誤りの蓄積と修正を担う。

## 9 最終形

### Display

中国語学習の基本循環

初稿

→ タグ判定

→ 根拠確認

→ 再提出

→ 再発記録

## 10 一言でいうと

中国語学習の運用設計とは、誤りを記録可能な型へ分解し、次回の修正へ接続する仕組みを固定することである。

## 11 関連リンク

→ **講義** 中国語ポータル [lecture](#) [chinese](#) [overview](#)  
<https://study.bem130.com/lecture/chinese/overview/中国語ポータル-講義/>

→ **定石集** 中国語誤りタグ体系 [reference](#) [chinese](#) [error-taxonomy](#)  
<https://study.bem130.com/reference/chinese/error-taxonomy/中国語誤りタグ体系-定石集/>

→ **定石集** SRS カード運用 [reference](#) [chinese](#) [error-taxonomy](#)  
<https://study.bem130.com/reference/chinese/error-taxonomy/SRS カード運用-定石集/>

→ **問題演習** 診断ミニテスト [exercise](#) [chinese](#) [translation](#)  
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/translation/診断ミニテスト-問題演習/>

→ **問題演習** タイムド日中翻訳基礎 [exercise](#) [chinese](#) [translation](#)  
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/translation/タイムド日中翻訳基礎-問題演習/>

→ **講義** 要約の基本 [lecture](#) [chinese](#) [expression](#)  
<https://study.bem130.com/lecture/chinese/expression/要約の基本-講義/>

→ **問題演習** 一分口頭要約 [exercise](#) [chinese](#) [expression](#)  
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/expression/一分口頭要約-問題演習/>

→ **定石集** 中国語ポートフォリオ運用 [reference](#) [chinese](#) [error-taxonomy](#)  
<https://study.bem130.com/reference/chinese/error-taxonomy/中国語ポートフォリオ運用-定石集/>

→ **問題演習** 段落日中翻訳 [exercise](#) [chinese](#) [translation](#)  
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/translation/段落日中翻訳-問題演習/>

→ **問題演習** ポートフォリオ更新ドリル [exercise](#) [chinese](#) [translation](#)  
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/translation/ポートフォリオ更新ドリル-問題演習/>